

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立川越初雁高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校の置かれた状況や生徒・保護者の期待・ニーズなどを適切に把握し、誠心誠意応えようとする姿勢を「教職員総がかりで」という部分に反映させている。学校として目指す方向が明確に示されている学校像であり、長期的な視点に立って全教職員が着実に課題解決のための取組を引き継ぎ、発展させている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	課題の解決のための中期的な視点に立つ目標となっている。目指す学校像を踏まえ、「社会性・市民性の涵養」という文言を入れるなど学校の取り組むべき課題が明確かつ具体的に示されており、日々の教育活動の指針となっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	分掌・学年等が連携しながら、「教職員総がかりで」目標達成を目指す体制となっている。評価項目や方策が、重点目標の達成に向けて本年度重点的に取り組むものとしてふさわしいものとなるように、より重点化して具体性のあるものにし、教職員全体や学校関係者が参画するように更に工夫すると良い。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	授業改善に向けて協調学習などの教職員間の自主的な学び合いが校内に広がっており、生徒が主体的な学習者として変容するなど成果も上がっている。全体的には方策が前年踏襲型となっているので、前年度末にまとめた課題と改善策や学校関係者評価を取り入れ、より具体的なものにするのと同時に選択と集中を図り、計画的に実施することが望まれる。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は組織力の向上と着実な前進を目指して学校自己評価システムを生かした学校経営に取り組んでいる。校長が的確にリーダーシップを発揮し、分掌・学年・教科などが学校全体の目標を理解した上で、適切に連携して全校を挙げての取組を行っている。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒生活調査・授業・進路指導部アンケートなど各種アンケートや学校関係者評価などを基に、生徒の実態を多角的に把握するための情報収集に努めている。質問項目を課題や次年度への改善策を明らかにするために精選するなど、必要なデータが得られるようにアンケートの内容を工夫し、学校関係者の意見やアンケートの結果等を丁寧に分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			